【AKT 秋田テレビ 2026 年度 第 4 回放送番組審議会】

秋田テレビの 2026 年度第 4 回放送番組審議会（江畠清彦会長）が、7 月 17 日開かれ、5 月 30 日に放送された 『秋田銀行スペシャル―ふるさと秋田再発見シリーズ―点描の秋田～絵画作家 永沢碧衣～』について審議した。

秋田に暮らし、いまを生きる一人ひとりの姿を見つめる新番組。秋田のいまと、その先にある未来を映し出す。第一回は、マタギの里に通い、授かった生き物から画材を作る絵画作家・永沢碧衣さん。秋田公立美術大学で学び、この土地の自然と人と共に生み出した作品が、若手登竜門「VOCA 展」で最高賞を受賞した。永沢さんの作品を通して秋田の宝物を探った。

委員からは、「30 分番組とは思えないぐらい丁寧に作られていた。」「クマを自ら解体し画材に使うなど、作品の持つ独自性やエネルギーに圧倒された。」「精神性が強調されていて、作家を純粋に応援したいと思える番組内容だった。」などの評価があった一方、「作品について第３者目線の解説が欲しかった。」「悩みや苦しみなど作家自身の原点を知ることができるようなものがあればよかった。」「専門用語が多かったので、スーパーなどで説明が欲しかった。」「ナレーションは聞きやすかったが、番組の世界観と違和感があった。」といった指摘もあった。